

- 第二レベルを「資源・環境」、「暮らし」、「経済・産業」の三つに集約
- 各々の項目を3～5にブレイクダウン

社会ニーズ		
持続的成長・発展可能な豊かな社会	資源・環境	1-1 ICT自身の資源使用・温室効果ガス排出の削減
		1-2 ICT活用による資源使用・温室効果ガス排出の削減
		1-3 環境モニタリング
		1-4 クリーンエネルギーの活用
	暮らし	2-1 安全で快適な電子的サービスの利用
		2-2 安心・安全の向上（災害・犯罪・事故の防止・対処）
		2-3 健康長寿（医療・介護）
		2-4 教育の高度化・機会拡大、知識社会の創成
		2-5 コミュニケーション手段の多様化
	経済・産業	3-1 ICT活用による競争力の強化（生産性向上、コスト削減）
		3-2 新産業のシーズ・プラットフォームの創出
		3-3 雇用機会の拡大（労働力の確保、労働参画の促進）

社会ニーズの整理(プレゼンテーションイメージ)

ICTの発展により、持続的成長/発展可能な豊かな社会を実現

資源・環境

- ICT活用によるCO2排出削減
- ICT自身のCO2排出削減
- 環境モニタリング

経済・産業

- ICT活用による生産性向上
- 新産業のシーズ創出
- 雇用促進

暮らし

- 電子的サービスの利便性向上
- 安心・安全の向上
- 健康長寿(医療・介護)
- 教育機会の拡充
- コミュニケーション手段の多様化

社会ニーズの具体化(1)

○ブレークダウンした社会ニーズについて、実現すべきサービスやシステムのイメージを具体化(3から5個程度に大括り)

資源・環境

1-1 ICT活用による資源使用・温室効果ガス排出の削減

ICTを活用した電力消費量のモニタリングや「見える化」、交通・物流の効率化や移動の削減等を通じて社会の電力消費や温室効果ガス排出を削減する。

◇家庭内の電力使用の効率化 ◇地域における電力供給の効率化 ◇交通・物流の効率化

1-2 ICT自身の資源使用・温室効果ガス排出の削減

ネットワークのトラフィック経路制御やICTデバイスの省電力化等により、データセンターやネットワーク設備等のICT機器が消費する電力を削減する。

◇ネットワークの消費電力の削減 ◇ICT機器の消費電力の削減

1-3 環境モニタリング

我々の生活環境及び地球全体の自然環境を良好に保つために、地球規模で各種環境(大気や河川の状況等)を常時監視・測定し、収集したデータを環境保全に役立てる。

◇地球規模での環境モニタリング ◇生活環境のモニタリング

1-4 クリーンエネルギーの活用

自然エネルギー等を用いて環境へ低負荷に発電し、そのエネルギー(クリーンエネルギー)を効率的に蓄電・伝送する。

◇自然エネルギーによる発電・蓄電・伝送

社会ニーズの具体化(2)

暮らし

2-1 安全で快適な電子的サービスの利用

ICTの活用による様々な電子的サービスを安心して快適に利用することができ、多様な情報がわかりやすく手に入る。

◇安心して使える ◇快適に使える ◇多様な情報がわかりやすく手に入る

2-2 社会の安心・安全の向上(災害・犯罪・事故の防止・対処)

安心・安全な生活を享受するために、ICTを用いて我々の生活を脅かす災害・犯罪・事故を防止あるいは対処する。

◇安心安全な交通 ◇災害への備え・対処 ◇犯罪防止 ◇安心安全な食生活

2-3 健康長寿(医療・介護)

ICTを活用することにより、医療・生活支援手段の充実や、新たな医療・介護サービスが創出され、国民一人一人が生き生きと暮らせる健康長寿社会が実現される。

◇医療サービスの多様化・充実 ◇介護サービスの多様化・充実

2-4 教育の高度化・機会拡大、知識社会の創生

教育手段・コンテンツの充実を図ることにより、教育の高度化・機会拡大、知識社会の創成を促す。

◇教育手段の多様化・高度化 ◇教育の機会拡大

2-5 コミュニケーション手段の多様化

一人ひとりの個性にあった暮らしや、どのような状況下でもよりリアルなコミュニケーションなどが実現できるよう環境整備を行う。

◇よりリアルなコミュニケーション ◇場所を選ばない ◇言葉の壁を越える

社会ニーズの具体化(3)

経済・産業

3-1 ICT活用による競争力の強化(生産性向上、コスト削減)

我が国の産業システムにおいて、ICTをより一層活用することにより、産業全体の効率化・生産性の向上、コスト縮減を目指す。

◇在庫管理、工程管理の効率向上 ◇人や物の移動の削減 ◇ネットワークサービスの向上

3-2 新産業のシーズ・プラットフォームの創出

(現段階では具体化しない)

3-3 雇用機会の拡大(労働力の確保、労働参画の促進)

全ての人々が労働しやすい環境作りを行うことにより、我が国の労働力の確保、労働参画の促進を目指す。

◇多様な労働力の確保 ◇働く場所を選ばない ◇職業訓練の多様化 ◇新規企業の活性化、環境整備

要検討

- ニーズの具体化は適当か
 - ✓主要なニーズはカバーされているか
 - ✓記述内容は妥当か
 - ✓ICTの貢献が説明できるか
- 技術課題をどう整理していくか
 - ✓記述の詳細度、括り方、ニーズとのリンク付け 等